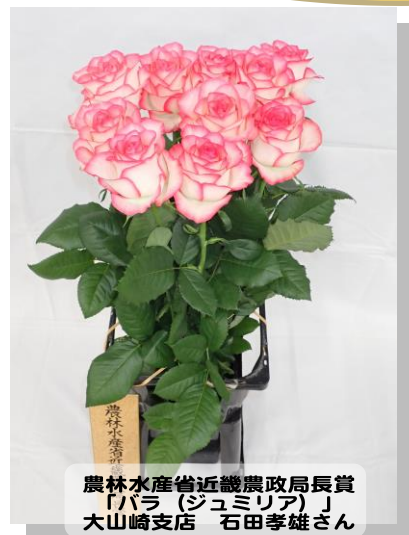


営農ウィークリーNEWS

2024年度京都府春季花き品評会



農林水産省近畿農政局長賞
「バラ (ジュミリア)」
大山崎支店 石田孝雄さん

5月22日、京都府花き生産組合連合会主催による京都府春季花き品評会が宇治市の大原総合花き市場にて開催されました。

花き産業を取り巻く環境は、安価な輸入花きの増加や長引く不況によって国産花きの消費金額は低下するとともに、担い手の高齢化や後継者不足によって、府内花き生産は厳しい状況にあります。

また、コロナ禍による様々な規制も緩和され、京都は大変多くの観光客等でにぎわうなど、人の流れも回復しましたが、肥料や燃料の価格高騰により、花き生産者にとって未だ厳しい状況となっています。

況となっています。

その様な状況の中で、京都府春季花き品評会は、府内一円の花き生産者から広く出品を求め、府内産花きの品質の高さをアピールし、より一層の花き生産技術の向上を図り、府民、市民にむけて消費啓発を進めることを目的に開催されました。

今年は、府内各地域より切花・枝物49点と鉢物・苗物21点が出品されました。

特別賞の最高位である農林水産省近畿農政局長賞に大山崎支店管内の石田孝雄さんが出品された「バラ (ジュミリア)」が受賞されました。

受賞された皆さま、おめでとうございます！

TAC information

2024年度京都府春季花き品評会 特別賞受賞者



京都市長賞
「ペチュニア (アレグラ混合)」
洛南支店 吉川耕平さん



京都市長賞
「ヒマワリ (スマイルラッシュ)」
向島支店 原田亮平さん



近畿花き振興協議会長賞
「バラ (サムライスプレー)」
洛南支店 月本雅治さん

農林水産省近畿農政局長賞

「バラ (ジュミリア)」
大山崎支店 石田孝雄さん

京都市長賞

「ペチュニア (アレグラ混合)」
洛南支店 吉川耕平さん

京都市長賞

「ヒマワリ (スマイルラッシュ)」
向島支店 原田亮平さん

近畿花き振興協議会長賞

「バラ (サムライスプレー)」
洛南支店 月本雅治さん



品評会場の様子

関係各位

京都府病害虫防除所長
(公 印 省 略)

病害虫発生予察情報について

下記のとおり発表しましたので送付します。

病害虫発生予報第 4 号 (6 月)

予報の概要

Table with 6 columns: 作物名, 病害虫名, 予想発生量, 作物名, 病害虫名, 予想発生量. It lists various crops like sweet potatoes, cucumbers, and leafy greens with their respective diseases and predicted occurrence levels.

※ 年平均とは過去 10 年の平均である。

目次
予報の概要 1
予報本文 2
今後注意すべきその他の病害虫等 19
参考
I 近畿地方の気象の 1 か月予報 21
II 用語の定義 21
III 予報本文の見方 22

農作物病害虫情報サービス ホームページ
https://www.pref.kyoto.jp/bvogai/
QR code

表 1 サツマイモ基腐病に登録のある主な農薬(令和 6 年 5 月 15 日現在)

Table with 10 columns: FRACコード, 農薬名, 希釈倍率・使用量, 散布濃度, 使用回数, 使用時期, 使用方法, 総使用回数. Lists various fungicides used for sweet potato basal rot.

1) 殺菌剤の有効成分と作用機序から分類した番号や記号のことで、コードが異なる薬剤を使用することにより、同一系統薬剤の適用を妨げる。
2) 殺菌剤のコード
3) 次作の基腐病の発病抑制剤での適用

対時特殊報

関係各位

京都府病害虫防除所長
(公 印 省 略)

病害虫発生予察情報について

下記のとおり発表しましたので、送付します。

発生予察特殊報第 3 号

病害虫名 サツマイモ基腐病
(病原菌 Diaporthe destruens (Harter) Hirooka, Minosh. & Rossman)
作物名 サツマイモ(かんしょ)
発生地 京都府内

1 発生経過

- (1) 令和 6 年 1 月、京都府内のサツマイモ栽培ほ場から収穫し保存中の塊根において、褐変症状を確認した(写真 1)。
(2) 当所において褐変症状を呈する塊根から分離した病原菌の形態確認(写真 2)及び PCR 法による検定を行ったところ、京都府内では発生を確認していないサツマイモ基腐病であることを確認した。
(3) 本病は、国内では平成 30 年に沖縄県で初確認され、その後計 34 都道府県で報告されている。

2 病徴と病原菌の特徴

- (1) 本病では、葉が黄変・赤変して生育不良となり、地際部の茎が暗褐色から黒色に変色する(写真 4)。塊根では、なり首から腐敗しはじめ、次第に塊根全体に病徴が進展する(写真 1)。
(2) 病変部には、微小な黒粒(柄子殻)が多く形成され、胞子が漏出する(写真 3)。胞子は降雨により周辺の株に移り発生が拡大する。
(3) 本病はサツマイモを含むヒルガオ科植物のみ発生する。伝染源は、主に感染した塊根(種イモ)や苗、土壌中に残った感染残渣である。

3 防除対策

- (1) 本病で、本病の病状を認めた株は速やかに抜き取り、ほ場外に持ち出して適正に処理し、薬剤を散布する(表 1 参照)。なお、茎葉の生育が盛んな時期は発病に気付きにくく、収穫時期が近づき茎葉の生育が衰えてから気付く場合があるので注意する。
(2) ほ場内の停滞水が発生を助長しやすいので、排水が不良なほ場では排水対策を行う。
(3) 発生ほ場で使用した農具や農機は、十分に洗浄・消毒を行う。
(4) 発生ほ場では、次作の前に土壌消毒を行う(表 1 参照)。多発ほ場では、サツマイモの連作を避け、ヒルガオ科以外の作物を栽培する。
(5) 本病が発生していないほ場で生産された、健全な種苗を用いる。
(6) 植付け前に苗の浸漬処理を行う(表 1 参照)。
(7) 防除対策の詳細は、農研機構ホームページ内の技術紹介パンフレット「サツマイモ基腐病の発生生態と防除対策(令和 4 年度版)」を参照すること。
https://www.naro.go.jp/publicity_report/publication/pamphlet/tech_pamph/158250.html



写真 1 褐変した塊根

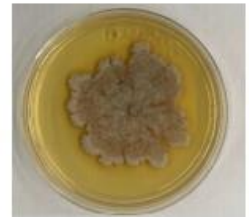


写真 2 Diaporthe destruens の培養菌叢(PDA)



写真 3 病変部の微小な黒粒(柄子殻)



写真 4 暗褐色から黒色に変色した地際部の茎

注) 写真 3 および 4 は、生研支援センターイノベーション創出強化研究推進事業(G1020C)および戦略的スマート農業技術等の開発・改良(SA2-102N)「サツマイモ基腐病の発生生態と防除対策(令和 4 年度版)」より加工